

のり海況速報 第12報 (26-12)

平成27年 3月 4日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 3/3：内湾(ふさなみ)、内房北部(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(2/20-3/4)、東京湾口海況図(2/20-3/4)
 自動観測ブイデータ(2/20-3/4)、拓南観測データ(2/20-3/3)
 モニタリングポスト(3/3：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温(図1)は依然1月下旬からほぼ横ばい状態が継続し、3日現在おおむね9~10℃台前半で推移しています。塩分はほぼ31台~32台前半で、平年並み~やや高めになっています。
- ・調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(図2)では、中央部の水深20m以深には塩分33.5以上のやや高い水塊がみられています。
- ・内房北部の表層水温もほぼ横ばい状態で、11℃台になっています。
- ・東京湾口への沖合水の流入は小康状態で、4日現在湾口部の水温は14℃台に止まっていますので、現状ではのり漁場への影響は少ない模様です。

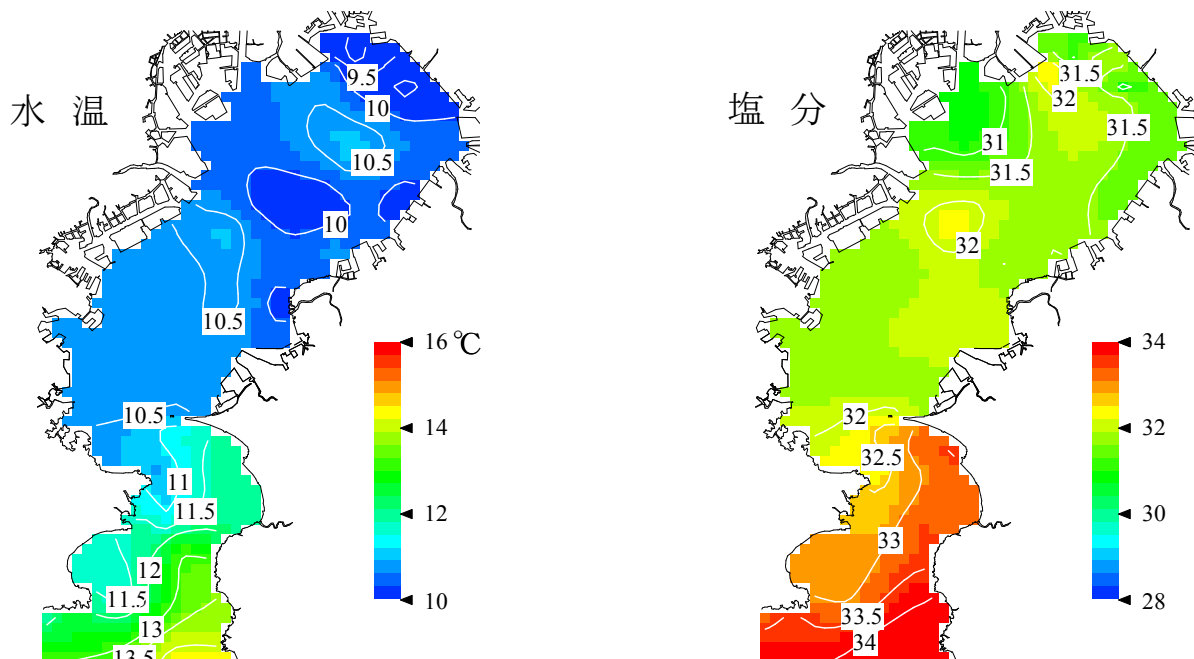


図1 表層の水温・塩分の分布(平成27年 3月 3日)

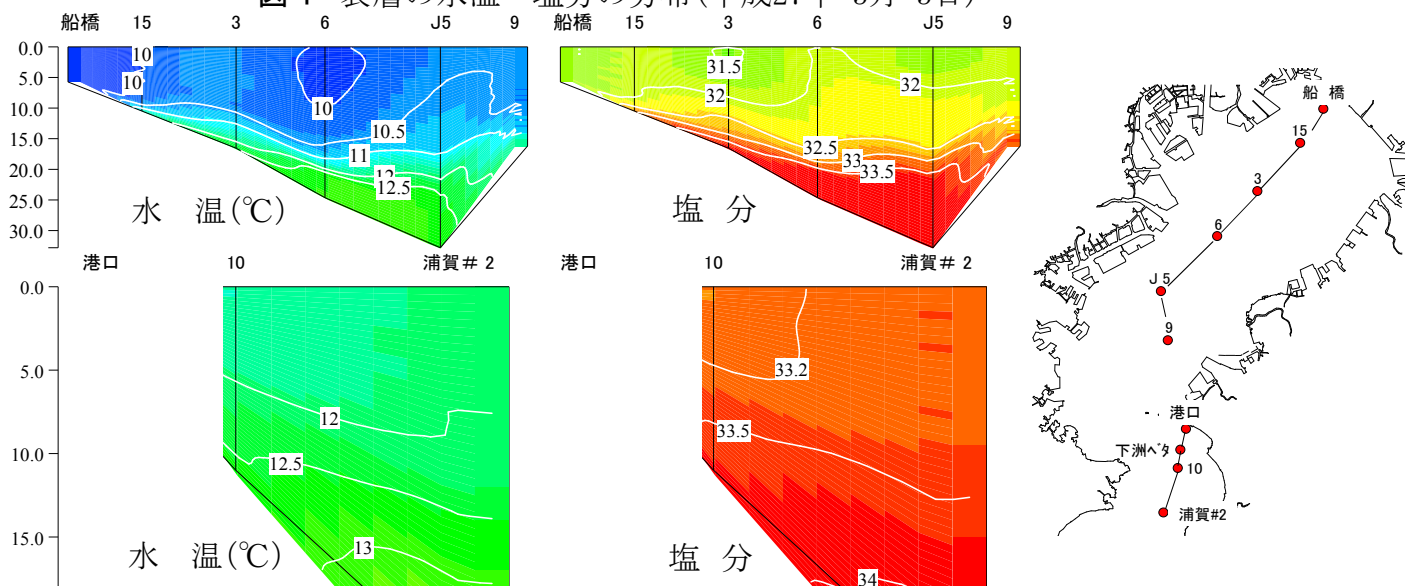


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成27年 3月 3日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- ・赤潮は全域で発生していませんでした。
- ・プランクトンは少なくなり、ケイ藻のスケルトネマやキートケロスがみられる程度でした。透明度は最も低いところで4m前後あり、水色も緑～黄緑色でした。
- ・のり色落ちの原因となるユーカンピアは僅かにみられます。
- ・表層の栄養塩(図3)は千葉北部地区のノリ漁場周辺でリン(D I P)が低い状態が続いていますが、全体的には窒素(D I N)・リン(D I P)とも十分あり、のり養殖にとって問題ない濃度になっています。

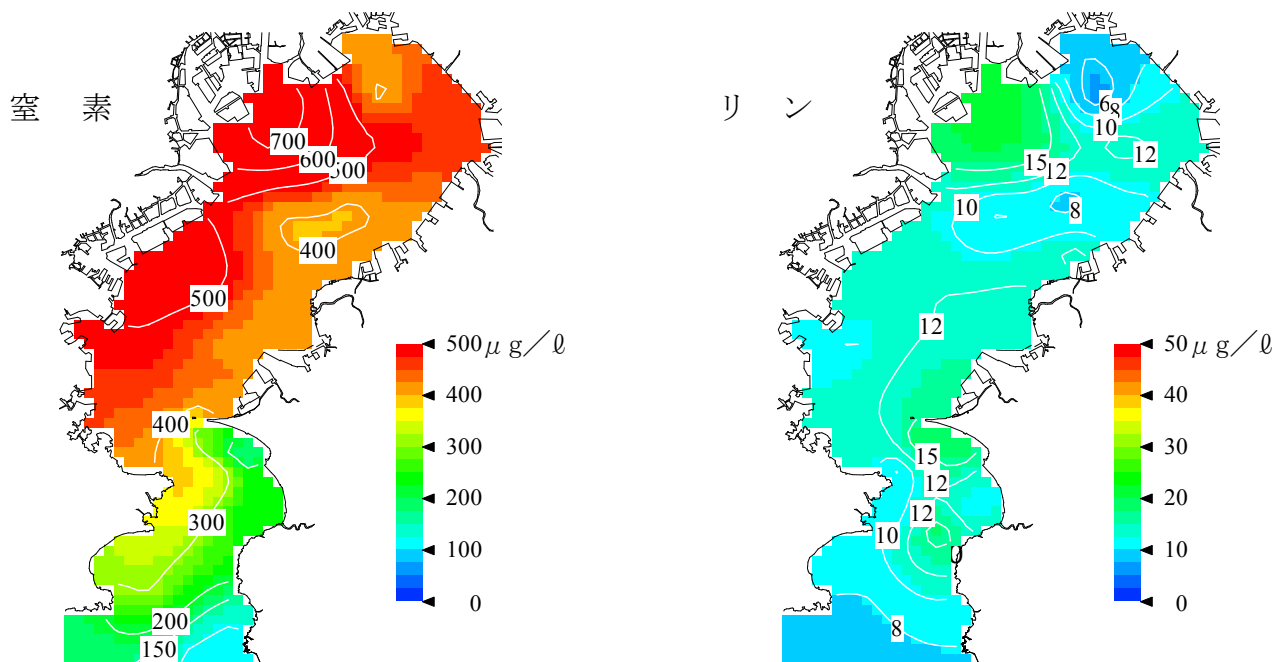


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成27年 3月 3日)

ノリ養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各ノリ養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”ノリ養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html